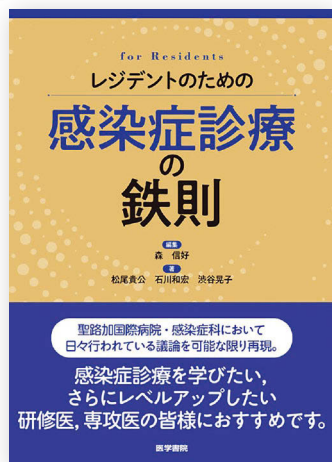




レジデントのための感染症診療の鉄則

森 信好＝編集

松尾貴公・石川和宏・渋谷晃子＝著

定価 5,940 円／B5 判・392 頁／医学書院／2026

感染症領域の実臨床では、病歴や身体所見、検査情報から何を疑い、鑑別を整理し、いつ抗菌薬治療を開始し、またいかに見直すのかといった判断が常に求められる。本書では感染症診療における思考のプロセスを症例ベースで紐解くことに主眼を置いた。頻度が高く重要なテーマを厳選し、Take home message を「鉄則」として提示。そして、その鉄則に至るまでの考え方や根拠をわかりやすく解説した。



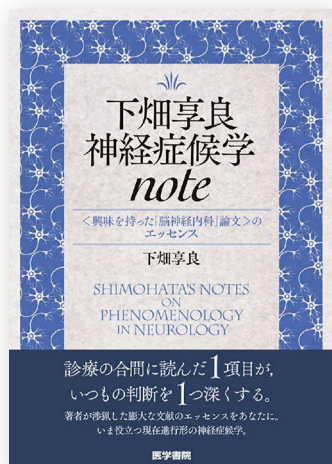
患者指導に困ったら読む本

まず、医療者（わたしたち）が変わる動機づけ面接

藤澤雄太＝著

定価 2,530 円／B5 判・168 頁／医学書院／2026

どれだけ言っても、患者の行動が変わらない——その悩みは多くの医療者が抱えています。本書は、「患者を変えようとする」のではなく「医療者の関わり方を変える」という視点から、患者の行動変容を支えるコミュニケーション法「動機づけ面接」を紹介します。臨床での具体例をもとに、患者との関係を見直し、信頼を構築し、よりよい支援の方法を見つけるための実践的な一冊です。キーワードは、「答えは患者のなかにある」！



下畑享良 神経症候学 note

<興味を持った「脳神経内科」論文>のエッセンス

下畑享良＝著

定価 7,700 円／A5 判・352 頁／医学書院／2026

ブログ<興味を持った「脳神経内科」論文>で知られる著者が、自らの探究のために読み解いてきた重要文献を精選。知的刺激に満ちた一冊としてまとめました。各項目がコンパクトにまとまっているから、忙しい人でも隙間時間で無理なく読み進められます。1 項目 5 分で読めて、一生使える知識が満載。現代のニーズに応える、新しい神経症候学書の誕生です。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.680) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



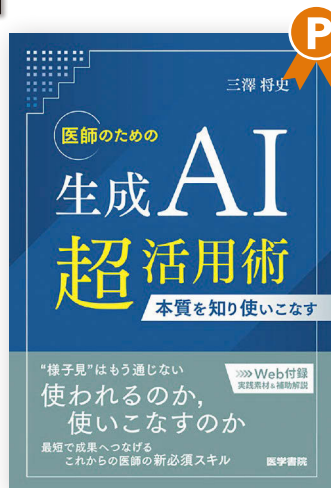
medicina 2026 年 04 月号 (増刊号)

特集 内科臨床医の五感が磨かれる 動画・音声付臨床問題集

定価 6,160 円

臨床医に求められる本質的な価値、それは患者を五感で診る力です。四肢の動き、呼吸音、皮膚に触れた際の感触、かすかな口臭、そして診察室に漂う空気感——。これら感覚を通じて得られた情報を統合し、意味づけ、言語化できる医師の存在価値は、AI 時代においてむしろ高まっています。五感を研ぎ澄まし患者と向き合う姿勢こそが、診断の質を高め、揺るぎない信頼関係を築く礎となります。

本特集は単なる問題集ではありません。AI と共存する時代において、臨床医が何を磨き、何を守り、何を進化させるべきかを問いかける一冊です。内科臨床医の五感を次の次へと引き上げる、至極の 100 問をお楽しみください。



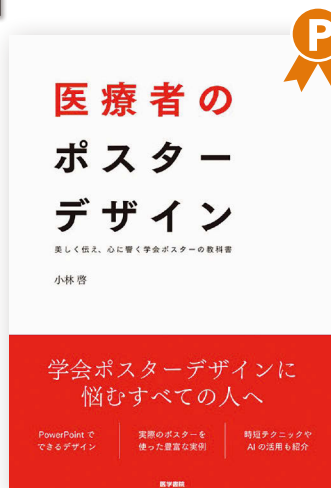
医師のための生成 AI 超活用術

本質を知り使いこなす

三澤将史＝著

定価 3,960 円／A5 判・272 頁／医学書院／2026

生成 AI は驚異的な速度で進化を続け、もはや「使うが使わないか」ではなく「どう適切に使いこなすか」が問われる時代となっている。本書では、医師が生成 AI を表面的に利用するのではなく、その本質を理解したうえで主体的に活用できるようにすることを目指す。第Ⅰ部では本質論を、第Ⅱ部では実務に即した活用術を解説。“本質×活用術”、医師の新必須スキルをこの一冊で！



医療者のポスターデザイン

美しく伝え、心に響く学会ポスターの教科書

小林 啓＝著

定価 3,740 円／B5 判・160 頁／医学書院／2026

好評書『医療者のスライドデザイン』、待望の＜ポスター編＞。時間をかけて準備したポスターが、思うように伝わらない——そんな学会・研究発表の悩みに応える一冊。誰に向けて、何を伝え、どのような価値をもたらしたいのか。本書ではデザインの基本から、伝わる情報設計、PowerPoint を使った美しいレイアウト、そして心に響くプレゼンテーションのコツまで一連のテクニックをわかりやすく紹介する。